Unit 11

Lecture 概要

pp.66-67

* コールマン教授は講義で宇宙の構造と我々の所在地について話す。「君たちは皆自分がどこにいるかについて知っていると思っているが，本当にそうだろうか？夜空を見上げると点々とたくさんの光が見えるが，非常に遠いのではっきりと見て確認することは難しい。望遠鏡を使ってかなりの細部で見ることが可能なものもある。例えば望遠鏡を使って撮った木星の写真がここにある。同じ望遠鏡を使って撮った土星の写真もある。ハッブル宇宙望遠鏡ほど詳細なものではないが，私は気に入っている。土星はちょっとかわいいからね。」
* 「では始めよう。言った通り，望遠鏡を使わずによる空を見ると，星や惑星や宇宙の小さな光の点のような他の物体が見える。詳細には見えないが，大部分は白い点のように見える。私たちは星は美しいと言うが忘れてしまう。宇宙は私たちには抽象的なものだ。宇宙は「上の方にある」だとか，「遠くにある」もので，私たちは宇宙とは切り離された場所である地球に住んでいる，と私たちは感じている。しかし，これは実は間違いである。地球は宇宙の一部であり，私たちは宇宙に住んでいるのだ。実は私たちの体の多くの元素は星の内部で創造されたものなのだ。」
* 「君たちは自分の通りや町や県や国や大陸の名前―つまり地球での位置を知っているだろう。実は君たちは自分の位置がわからないと混乱してしまうのだ。混乱するということは不安であり，感情を混乱させるものだ。だから多くの人は自分がどこにいるか知りたがるのだ。」
* 「しかしながら，地球での自分の住所を知ることは私たちの本当の位置を知ることについての非常に小さな部分なのだ。私たちは地球という水槽にいる金魚であり，地球は想像を絶するほど大きな宇宙の中のごく小さな粒なのだ。地球での位置を知っているだけであっても，宇宙での位置は知らないということで，私たちは水槽の外に何があるかを知らない―水槽がどこにあるかさえ知らない金魚だというようなものだ。恐らく多くの人は実際に自分たちがどこにいるか知らないのでしばしば混乱してしまい，宇宙は分かりにくく神秘的に見えるのだ。従って，宇宙の構造について学ぶことは良い考えだと思わないかね？一度こういったことを知ってしまうと，恐らく生命や存在は混乱が少なくなりより安心できるものになるだろう。宇宙とその中での私たちの位置を謎にしておく理由はない。かなり理解し易いものなのだ。」